

## 国文研 大型プロジェクトのデータベースにもDOI

今後、国文研は30万点を目標とした古典籍画像データベースを構築していきます。2017年4月より、そのコンテンツにDOIを付与する予定です。このDOIを論文に明記すれば、論文に用いた古典籍をダイレクトに確認できるのです。

## 国文学研究資料館 古典籍画像 30万点(公開予定)

### 古典籍画像データベース

源氏小鏡



実際の画面とは異なります

デジタル画像データ(DOI付与)



書誌データ

### DOIで検索

論文や研究発表  
での引用に!



引用された画像の  
検索や検証に!



どこでも、いつでも、誰でもアクセスできます!



国文研は古典籍データへのDOI付与を推進します

### 国文学研究資料館

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3

E-mail : cijinfo@nijl.ac.jp

URL : <http://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/>



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。



検証可能な学問に向けて

論文に引用する古典籍に  
DOIを明示しましょう



日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画

# DOI (ディー・オー・アイ) って何

**Digital Object Identifier** の略。

恒久的にデジタル情報を特定できる、**国際的な識別子**、それがDOIです。対象は、書籍や論文にとどまらず、研究データ、さらに映画やテレビ番組などの情報資産にも、広がり続けています。

インターネット上にあるデジタルコンテンツの所在情報は、一般的にURL (http//・・・) によって示されています。しかしページやコンテンツの場所などが変わるたびにURLも変更になり、わずかに数年で、対象のサイトに行き着けないということがしばしば。

そこで、デジタルコンテンツへの永続的なアクセスを実現するため考案されたのが、DOIです。

日本では、大学図書館や国立情報学研究所、国立国会図書館が古典籍のデジタル画像へのDOI付与に先進的に取り組んでいます。国立国会図書館では、博士論文(14万件)等への付与に加えて、2015年2月から、約9万件的古典籍画像にもDOIが付与されました。

DOIは、いま研究者が知っておくべき識別子なのです。

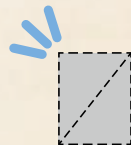
## 古典籍もインターネットの時代に→注目されるDOI

〈参考〉DOIハンドブック

[http://www.doi.org/doi\\_handbook/translations/japanese/hb.html](http://www.doi.org/doi_handbook/translations/japanese/hb.html)



## DOI利用のメリット



### リンク切れなし

恒久的に、確実に、画像に到達できます。また、DOIはURLに変換が可能です。



### 画像の確認が簡単

DOIを入力するだけで画像にたどりつけるので、OPAC(蔵書検索システム)を利用して、所蔵機関の請求記号を調べるなどの手間が省けます。また、すぐに画像で確認できるので、論文内容の検証が容易になります。

たとえば、発表の途中でも資料に示されたDOIをタブレットやPCで検索すれば、参加者はその場ですぐに検証が可能となるのです。



### 書誌情報も同時に確認可能

国文研の場合、DOIは今後のシステムで書誌情報とともに示される予定ですので、DOIを入力することで、画像を含む書物全体の情報を得ることができます。



## タイトルだけでは区別しにくい 多くの版種がある場合も便利

たとえばDOIをつけることで、国文研に2点ある『優曇華物語』を区別することができます

国文学研究資料館蔵『優曇華物語』

DOI:10.□□□□/○○○○○○○○



(文化元年 鶴屋喜右衛門刊)

DOI:10.□□□□/△△△△△△△△



(嘉永元年の後印)

薄墨色の背景がなくなる